

## 学びのデザインシート（本時）

### 主体的・対話的で深い学びを実現する授業構想【社会科】

1. 対 象 6年生
2. 単元名 「武士の世の中へ」（全6時間）
3. 単元の目標

|              |                                                                                                           |
|--------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 知識及び技能       | (エ)源氏の戦い、鎌倉幕府の始まり、元との戦いを手掛かりに、武士による政治が始まったことを理解すること。<br>(シ)遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめること。                   |
| 思考力、判断力、表現力等 | (ア)世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、我が国の歴史の展開を考えるとともに、歴史を学ぶ意味を考え、表現すること。                      |
| 学びに向かう力、人間性等 | 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、我が国の歴史や伝統を大切にする心情をもつ。 |

#### 4. 本時の目標

源氏の勢力拡大の様子を、資料や地図から読み取ることを通して、源氏により平氏が滅ぼされ、源頼朝を中心とする武士の力が広まったことを理解する。

#### 5. 授業展開

##### 解決したい課題や問い

どのように源氏は、平氏を倒すことができたのかな？

##### 考えるための材料

- ①源氏の軍の進路（地図）
- ②源氏と東国の結びつき（文章）
- ③関東地方の武士団（図）
- ④壇ノ浦の戦い・一ノ谷の戦い（図・4コマ漫画）

想定される活動

- ②③頼朝の祖先の行いによって、東国と源氏の結びつきが強まったことに気付く。
- ①③関東で頼朝に味方した武士が多かったことから大きな戦力となり、東から勢力が拡大したことに気付く。
- ④相手が想像つかないような戦術が勝利へ導いたことに気付く。

##### 対話と思考（対話を通じた協働的な問題解決のプロセス）

- ・隣の人に自分の考えを伝え、グループで自分の意見と友達の見解を比べながら考えを聴く。（5分程度）
- ・その後、全体で交流をする。  
「どうして勝てたのかな？」  
「頼朝の祖先が、東国の武士から強い信頼をされていたんだね。だから源氏の力になってくれたのかな？」  
「関東の武士達も頼朝の味方をしたということは、平氏のやり方に反発していたのかな？」  
「相手と同じ戦い方をしていたら、数で負けてしまうけど、戦術をしっかり考えたから勝利に近づいたんだろうね。」

##### 学習の成果（予想される生徒のあらわれ）

- ・関東では、平氏のやり方に反抗していた武士や祖先や、源氏にお世話になっていた武士が、源頼朝に味方したんだね。
- ・源義経の戦術は平氏を滅ぼしたね。
- ・源氏の味方をする武士が多くなったから、壇ノ浦まで平氏を追い詰めて勝利することができたんだね。